



## 追手門学院大手前高校、校友会山桜会・地域農園と連携 高校生が田植え体験を通じて食農と地域経済を学ぶ

追手門学院大手前高等学校（大阪府中央区、校長：大橋忠仁）は2026年6月28日（日）、追手門学院校友会山桜会と農業法人「ゆーかりファーム（株）」（八尾市、代表取締役 橋本和則）と連携し、「第一次産業から第二次産業へのつながりを体得する」探究学習を開催します。

本企画は、高校2年生の生徒を対象に、お米の田植え体験やドローンの見学など、農業という「生産の現場」を体験するものです。その後、生徒たちは、秋に開催される文化祭でのブース販売までを主体的に企画・運営し、取り組みを通じて、地域経済の活性化やアントレプレナーシップ（起業家精神）の育成に貢献することを目指しています。



追手門学院大手前中・高等学校

### 【3つのポイント】

- 企業・高校・校友会が連携し、体験型の探究学習を展開
- 実際の生産現場で、生徒が田植え体験やドローン見学を経験
- 高校生が第一次産業の現場を学び、発信することで、地域経済の活性化や次世代のアントレプレナーシップ（起業家精神）の育成に貢献

この取り組みは、生徒が実際の現場でビジネスや食農、地域経済の課題に触れて学ぶことに加え、校友会を通じて活躍する卒業生や地域企業とのコミュニケーションを通してつながりを得ることを目的に企画されました。

本企画は、校友会山桜会（同窓会）および地域企業と協働して実施しており、今年度で3回目を迎えます。1、2年目は「企業とのコラボレーション」そのものに焦点を当てていましたが、3年目となる今年度は、探究学習のさらなる深化を目指し、「第一次産業から第二次産業へのつながりを体得する」という新たな試みに取り組みます。

当日は、お米の田植え体験やドローンの見学を行い、生徒が実際の生産現場に関わりながら探究学習を進め、その後、加工に至る第二次産業に関する見学も後日行い、最終的に文化祭での販売を模索していきます。

学校ならではの卒業生の人脈と地域企業との協働により、生徒たちは実際の現場での探究学習を通じて、実践的な知識を学んでいきます。

### 【実施概要（田植え体験・ドローン見学）】

- ・日時：2026年6月28日（日） 9:00～11:00
- ・運営：「ゆーかりファーム（株）」代表取締役 橋本和則（追手門学院大手前中・高等学校、追手門学院大学 卒業生）
- ・場所：大阪府八尾市福万寺町南1丁目16番
- ・体験内容：お米の田植え体験、ドローンの見学

### 【今後のスケジュール】

6月：田植え体験・ドローンの見学 / 7月：文化祭でのブース販売内容の決定 / 8月：稲刈り体験（予定） / 9月：錦城文化祭にてブース販売

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL：072-665-9166

西村・織田・所